

## 学校読書調査から：YAと読書

10月24日(日)の毎日新聞速報。6月に実施した学校読書調査(毎日新聞と全国学校図書館協議会のより行われる読書調査)によると、本年は本を読む中高生が急増したとのことです。昨年度の調査では1ヶ月の平均読書冊数は中学生が2.8冊、高校生が1.3冊だったものが、それぞれ3.4冊、1.8冊に増加したというものでした。「世界の中心で、愛を叫ぶ」が多くの中高生に読まれたことが読書冊数増加の影響としてあげられ、さらに、十代の芥川賞作家の作品「蹴りたい背中」「蛇にピアス」も高校生では読まれた本として上位にランクされているとのことです。

確かに春から夏にかけて、「世界の中心で、愛を叫ぶ」(片山恭一著)は本だけでなく漫画も発行され、テレビや映画でも取り上げられ、そのコマーシャルは一日に何度も流されていました。また、「インストール」(綿矢りさ著)「蛇にピアス」(金原ひとみ著)も漫画化されるなど、図書館界でヤングアダルトといわれる世代の子どもたちにとって、原作の本に手をのびやすい環境も整っていたように思います。また、この年代の子どもたちは横のつながりが強い年代ですから、友達同志「ねえ、読んだ?」が、これらの作品を彼らのベストリーダーにしたのかもかもしれません。自分と年代の、等身大の主人公たちが、呼吸しているこれらの作品を彼らが手にするのも当然のことと思われる。と同時に、この世代の子どもたちに本を薦めることの難しさを感じます。

現代の子どもたちは、あふれる情報の中で生きています。それは読書に関しても同じで、毎月読み切れないほど発行される本や雑誌の中から、自分の読みたいもの、今の自分にじっくりくものを探し出すのは、大変なことです。また、自分の好みというものははっきりしてきますので、大人がどんなに「これを読んでほしい」「これ、いい本よ。」「これなんか、どう?」と薦めてみても、すんなりと受け入れてくれるばかりとはいきません。

以前、中学校の学校図書館でこんな経験をしました。本を読むのが好きな3年生の女子生徒にある一冊の本を紹介した時のことです。この生徒とはお互いに読んだ本の情報交換をしていたのですが、表紙を見るなり「絵がねえ...。表紙のイラストが好みではないので、やめておく。」と、その場で本を手にすることはありませんでした。

当然、その逆もあるわけで、今映画で注目されている「ハウルの動く城」の作者ダイアナ・ウィン・ジョーンズ氏の作品は、佐竹美保氏のイラストをきっかけに本を手にした生徒が、そのお話の面白さを友達に広め、読者が増えていきました。

このように、本の中味の良し悪しは別として、ヤングアダルトといわれる世代が本を手にするきっかけは本当にいろいろあります。本の大きさ・厚さも、読む読まないのきっかけになります。そのときの学校の授業で取り上げられている内容にあった本が、タイミングよく書店や図書館に並べば手にとられますし、いわゆるタレント本などもよく読まれています。パソコンや携帯電話の情報から興味を引く本「ディーラブ」「電車男」なども多くのヤングアダルト世代が書店などで手にしている様子を見かけますし、『学校図書館に入れて』とリクエストする子もいます。ドラマや映画の原作だけでなく、劇中の主人公が紹介した本にすぐとびつく子もいますし、自分のスキルアップにつながる本を読む子もいます。現状では、本を読む子は増えているようです。

ところが、学校で、授業以外に漱石や鷗外などの作品を読む子の姿を見かけることはほとんどなくなりました。(家庭での様子まではわからないのですが...)中学校の教科書をもて「坊ちゃん」や「高瀬舟」などは書名の紹介だけになってきています。(以前は、全文が掲載されたり、一部抜粋されていたのですが...)文豪と作品は彼らにとって文学年表上の名だけの存在になってきているように思えます。また、現代作家のもので、読み応えのある本や専門的分野を取り扱った新書などは人気がないようです。児童文学作品に触れずに成長してきている子も大勢います。柔軟な感受性を持っている若者にぜひ読んでほしい本から、若者は遠ざかっているように思います。最近の子どもたちの食生活において、柔らかくて口当たりのよいものばかりを食べていることの弊害が言われていますが、読書に関しても同じことが言えるように思います。

読書調査の数字を見れば、ヤングアダルト世代は活字に少し近づいたようです。しかし、言葉から、あるいは、深く考えることから離れていってはいないかと心配になります。

### イベント・講座・講演会情報

子ども読書推進事業講演会

期 日：12月12日(日)

午前の部 10時~12時

午後の部 1時30分~3時30分

場 所：月見の里 学遊館

申込締切り：12月10日(金)

問い合わせ：袋井市立図書館

電 話：0538-42-5325